

平成26年度事務事業評価シート

取組みコード 41324

区分	補助金・交付金	担当課	指導室・教育開発センター	作成日	平成26年5月30日
事業名	社会科副読本作成事業費		開始年度	昭和57年度以前	予算科目 9.1.4.4.1

1. 事業の概要

総合計画での位置づけ	
部	第4部 豊かな人間性を育む文化のまちづくり
章	第1章 生涯を通じて学ぶ体制づくり
節	第3節 小中学校教育の充実
基本施策	2 生きる力を育む教育の充実
取組みの基本方向	(4)地域の自然、歴史、文化、人材など、地域教育力をいかした特色ある学校づくりを推進します。
根拠法令等	学習指導要領小学校社会科
目的 (誰・何を対象に、何のために)	学習指導要領に示されている目標を達成するため、町立小学校第3・4学年児童の、社会科における地域学習が、効果的に進められること。
内容・方法 (何を行っているのか)	社会科副読本改訂委員会を設置し、社会科副読本「あいかわ」の改定作業を実施した上で、必要な部数の社会科副読本及び指導の手引き・白地図について作成する。 なお社会科副読本の改定については、4年に1度改訂し、副読本等を作成する、作成の計画で実施しているものである。

2. 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の節の成果指標	指標名		平成21年度	平成28年度			
	「小中学校教育の充実」について満足と感じる住民の割合		28.9	39			
(A) 総合計画の節の目標を達成するため本事業に求められる成果	社会科の地域学習が効果的に進められること						
(A)の成果をあげられているか測るための指標(成果指標)	増減	指標の説明	項目	基準年度(H23年度)	平成24年度	平成25年度	平成26年度
各学校の事業評価の1段階評価のB以上の割合(%)	増	各学校の事業評価により、学習が効果的に進められているかを客観的に判定する	計画値		85.0	85.0	85.0
			実績値	100.0	100.0	100.0	
			達成度※自動計算		117.6	117.6	0.0
(B) 成果指標の目標を達成するため本事業において町が行う活動	社会科副読本改訂委員会の開催						
(B)の活動状況を測るための指標(活動指標)	増減	指標の説明	項目		平成24年度	平成25年度	平成26年度
改定委員の年間活動(回)	増	改定委員の年間活動(回)	計画値		3.0	5.0	5.0
			実績値		3.0	5.0	
			達成度※自動計算		100.0	100.0	0.0

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

3. 事業費の推移と財源内訳

(E) 平均人件費(円/年) 8,300,000

年度	基準年度(決算)(H23年度)	平成24年度(決算)	平成25年度(決算見込)	平成26年度(予算)
(A) 事業費(円)	5,533,765	4,243,298	2,526,423	3,579,000
(B) 概算職員数(人)	0.100	0.100	0.100	0.100
(C) = (B) × (E) 人件費(円) ※自動計算	830,000	830,000	830,000	830,000
(D) = (A) + (C) 総事業費(円) ※自動計算	6,363,765	5,073,298	3,356,423	4,409,000
単位当たりコスト ※自動計算	63,637.7	50,733.0	33,564.2	
財源内訳(円)	特定財源			
	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
一般財源 ※自動計算	6,363,765	5,073,298	3,356,423	4,409,000

4. 事業の項目別評価(分析)

項目	判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
妥当性 <small>(公費を投入して実施することが妥当な事業か)</small>	法令等で義務付けられた事業である。	○	B
	民間サービスで同様の事業は実施されていない。市場原理に委ねることができない。	○	
	国や県において同類種の事業が実施されていない。		
	事業開始時から事業目的や町民のニーズの変化がない。	○	
	事業・サービスの提供時間帯及び場所は公平に提供されている。	○	
	受益に応じた負担は適正である。	○	
	事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質である。		
	町民の日常生活に必要不可欠な事業である。		
上記のいずれにも当てはまらない。			
有効性 <small>(基準年と比較して成果が上がっているか)</small>	成果指標について平成25年度の目標を達成している	○	A
	基準年度と比較して成果が向上している	○	
効率性 <small>(なるべく費用をかけずに成果を上げているか)</small>	基準年度と比較して費用の縮減ができている (費用の縮減率が成果の向上率以上か)	費用減≧成果ダウン	B
有用性 <small>(施策の成果指標の目標達成に貢献しているか)</small>	総合計画の節の目標達成のための本事業の効果	間接的	B
	総合計画の節内での本事業の優先順位	高い	
総合評価 ※自動判定		改善の余地がある	

5. 特記事項

--

6. 自己評価(担当課)

評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 再構築	<input type="checkbox"/> 廃止
理由	地域学習を効果的に進めるためには今後も副読本が必要であり、一定期間での改定が必要なため。					
今後の方向性	今後も4年1サイクルとして事業を継続していく。					

7. 1次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 再構築	<input type="checkbox"/> 廃止
今後の方向性に係る意見等	所管課の方向性のとおり					

8. 2次評価(外部評価:行政改革推進委員会)

評価結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 再構築	<input type="checkbox"/> 廃止
今後の方向性に係る意見等	/					

9. 2次評価(実施のない場合は1次評価)を踏まえた対応案(担当課)

--

10. 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 再構築	<input type="checkbox"/> 廃止
理由・改善方針	現状のまま引き続き事業を実施する。					